

とが出来る様、引き続き努力したい。

今年も、行事やその他、様々な事についてどの様に行っていくか、

おひとりお一人と寄り添いながら、園として、出来る限り誠心誠意の対応を続けて行きたいと思う。

・子どもたちの安全への教育に関しては、ここ数年来の大きな課題となっている。特に降園時の交通マナーに関して、近隣の方たちから厳しいご意見をいただいていたという経緯もあり、保護者の方にもご理解・ご協力を頂き、子どもたちの安全のためにも、引き続きの意識付けをしていく必要があると思う。特に、降園後、制服のままで遊びに行く姿が多く見受けられているので、小学校に行くようになった際、下校途中で家に帰らず制服のまま遊びに行く癖にもつながる為、積極的に注意喚起して行きたい。

・家庭との連携に関しては、保護者の方と協力しつつ、保育、行事も少し形を変えたりしながらではあったが、行う事が出来る様に努めた。特にご協力をお願いする様な行事でも、保護者の方は子どもたちの豊かな成長のため、教師と協力し支えて下さった。日頃は、登園・降園の短い時間の中ではあるが、家庭での様子や園での様子を少しずつでも伝え合い、今後もわかちあうことが出来れば…と思っている。当園においても最善を尽くすべく、各方面とも様々な連携を図り、保護者会としての活動もかなり元に戻し、園外で社会科見学会も行うことが出来、また、給食試食会も例年通りに行う事が出来た。また、今年は“あいき・いきいき・フェスタ”で、更に範囲を広げて開催する事が出来た。役員の皆様と連携を取りつつ、様々な事柄に対してご理解・ご協力を頂き、ご迷惑をお掛けした事も多々あったかと思うが、全ての行事をこなすことが出来た事は、本当に感謝であった。

・地域との連携に関しては、コロナ渦で開催が叶わなかった金蘭会高等学校・中学校との交流会も持つ事が出来、年長児はお姉ちゃん先生たちと、楽しいひと時を過ごすことが出来た。上福島小学校のグラウンド使用不可期間中に、今日までの様な連携を取らせていただき、良好な関係性も築く事が出来、それによって、運動会の開催日の雨天時予備日のお話までも可能となった事は、非常に有難く思う。高潮の場合の避難所としての連携も取らせて頂いており、今後も友好な関係性を続けて行きたい。

また、コロナも終息した今、更に善き交流を持てる様、広く内外に当園の事を知って頂ける様、個人名等を伏せた形での“園だより”を、ホームページへ掲載する事としたので、これからも引き続き地域の方々と寄り添い、互いに支え合って行ければ…と思う。

・預かり保育 特に夏期預かり保育に関しては、目標を達成出来ていると考えている。

また、昨年度から行って来た、冬期・春期の預かり保育も、今年度は、日数を更に増やして行った。

これからも、保護者の方々の環境の変化（就労状況等）をしっかりと見つめつつ、職員が研鑽を積む機会も確保しながら、常に“こどもが まんなか” で、行っていけたら…と、強く願う。

・今年度は、

園舎へのオーニング（雨天時や日差しの強い際の日除けテント）工事及び園舎壁へモニュメントの取り付けも行った。

オーニングによって、夏の暑い時期でも園庭で遊ぶ機会を積極的に設けることが出来るようになり、降雨時でも、お部屋にスムーズな出入りが可能となった。また、モニュメントの取り付けにより、園門扉から園舎へ、また、園庭から見える絵本のお部屋の扉の絵柄との連動により、園内に一体感が生まれ、子ども達や保護者の方、地域の方からも“かわいくなったね”と好評であった。

また、もも組のお部屋に新しい玩具（リングタワードミノ）も導入し、指先の器用さや持続性、根気も養われるように、更なる環境の充実も図った。設備の充実に関しては今後も、理事会と連携を図りつつ、より良いものとして行きたい。

5. 学校関係者評価

*2025年4月24日(木) 10時30分～ 2024年度 学校関係者評価委員会 開催

特段の指摘事項も無く、10時55分に無事閉会した。

6. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。